

JAL、「弘前・扇ねぶた」で機内お出迎え、青森の夏を盛り上げます

- 「弘前ねぶたまつり」開催期間中、羽田＝青森線の機内入口横に「扇ねぶた」のペーパークラフトを展示
- ペーパークラフトには、りんごや桜の木の剪定枝を活用した「りんご/さくら和紙」を使用

JALは、ネットワークを活かした地域特産品の発掘などの地域産業支援や、交流人口の創出による観光振興など、地域の活性化に向けた継続的な活動「JALふるさとプロジェクト」に取り組んでいます。このたび、その活動の一環として、機内入口に、弘前の「扇ねぶた」のミニチュアペーパークラフトを展示し、ご搭乗のお客さまへ、今年300年という節目を迎える「弘前ねぶたまつり」の魅力をお伝えします。

ペーパークラフトの材料には、りんごや桜の木から剪定され廃棄となってしまう枝を有効活用した「りんご/さくら和紙」を使用しております。当企画は青森県出身のJALふるさとアンバサダー(*1)がひろさき産学官連携フォーラム「りんご/さくら和紙研究会」の皆さまと共に、和紙の普及を検討している中で、自身の経験に照らし発案しました。

(*1) 客室乗務員がゆかりのある地域に移住し、培ってきた知見を活かして地域資源を活用したコンテンツの創出や商品開発など、地域課題に対する企画のご提案などを行います。



◇期間 2022年8月1日(月)～8月7日(日)

◇対象路線・便 羽田(東京)＝青森線 すべての便



「りんご/さくら和紙」を利用した「扇ねぶた」のペーパークラフト。「弘前ねぶたまつり」では、三国志や水滸伝などを題材にした武者絵を描いた「扇ねぶた」が市内を練り歩きます。



弘前市・櫻田市長(左から3番目)への「りんご/さくら和紙研究会」のメンバーとJALふるさとアンバサダーによる表敬訪問を実施(2022年7月27日)。和紙活用の報告。